

博物館・歴史資料館だより

平成十七年度揖斐川民俗資料館特別企画展

新揖斐川町の歴史・民俗文化を探る

○期間 平成十八年一月三十一日(火)～三月十二日(日)
○会場 揖斐川歴史民俗資料館 特設会場

去る一月三十一日、新揖斐川町合併一周年記念の日に、平成十七年度特別企画展の開場式が盛大に催されました。

この企画展は、展示テーマを「新揖斐川町の歴史・民俗文化を探る」として、五か年計画で「旧一町五村の先人の築き上げた豊かな民俗文化の歴史を追求し、伝えていく企画」です。

その第一弾として、今年度は坂内地区などの紙漉を中心し、徳山地区の民俗資料、久瀬地区の製炭・養蚕道具、また谷汲・春日地区をはじめとする祭りの道具などの展示を設けています。ぜひ皆さんお誘い合わせてご来場ください。



オープニングセレモニーの様子

① 紙漉の資料

坂内、藤橋、久瀬地区の紙漉の資料を展示します。また、紙漉や和紙の歴史をたどり、奈良時代の戸籍や鎌倉時代の仏教の経典から歴史における紙の重要性を見出します。



紙漉き資料の展示

また、紙漉の文化と関連して、西美濃から中濃に移行した文化として、「刀鍛冶」として鍛造された藤原寿命の「西郡鍛冶」として鍛造された藤原寿命の刀剣を展示し、埋れた文化を掘り出します。

② 山樵用具・養蚕用具

揖斐川上流山間部では、かつて林業・製炭業および養蚕が重要な産業であったことをふまえ、様々な「こぎりや炭・段木などの資料、および民間に伝わる信仰として「山の講」の資料を展示してあります。



山樵・養蚕資料

③ 民俗資料

徳山民俗資料収蔵庫の所蔵品を中心に、山村の巧みな技法に裏打ちされた数々の民具を展示してあります。



国指定を受けた「ネヤ」(寝床)

④ 祭り

春日太鼓踊り、谷汲踊りおよび桂古代踊り、白檉踊りの衣装を一堂に展示し、町内の様々な祭りの様相を比較します。また、揖斐祭り芸軸彫刻の「旭鳥」(高砂軸)、「手長足長」(老松)(住吉軸)を展示してあります。



祭り資料